

稲作農家の皆様へ

飼料用米に取り組みましょう

岡山県農業再生協議会（平成29年1月）

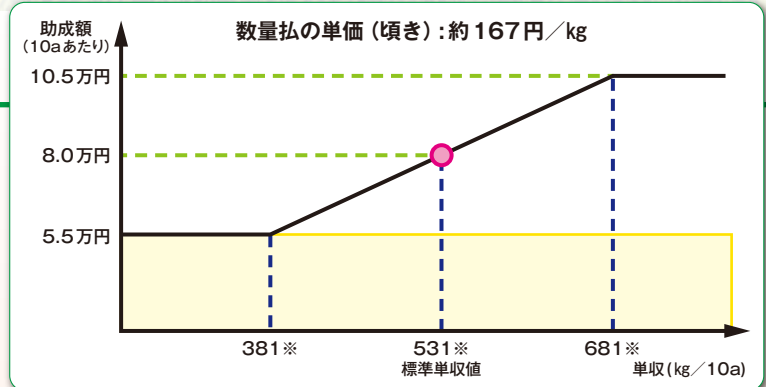
飼料用米の取組が進んでいます！

- ▶ 平成28年産の飼料用米生産状況は、全国で48万トンで平成26年産の約2.5倍、岡山県でも約4倍と着実に取組が進んでいます。
- ▶ 飼料用米には大口の需要があり、大幅な増産が求められています。
- ▶ 作付段階で収入が見通せるため、経営安定につながります。

飼料用米の取組状況	28年産飼料用米生産見込 (平成28年9月15日時点)	27年産飼料用米生産状況	26年産飼料用米生産状況
全 国	48万トン	42万トン	19万トン
岡 山 県	8,086トン	6,176トン	2,060トン

支援 1 水田活用の直接支払交付金（戦略作物助成）

- 数量払の導入で最大 **10.5万円／10a**
標準単収でも **8万円／10a**（作況指数100の場合）
 - ・ 交付対象者は販売農家・集落営農
 - ・ 数量払による助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることが条件。
 - ・ ※は全国平均の平年単収（標準単収値）に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収（配分単収）を適用。
 - ・ 平成28年産から標準単収値は、作況に応じて変動（作況調整）します。



支援 2 水田活用の直接支払交付金（産地交付金）：多収品種

- 多収品種に取り組むと上乗せで助成されます。助成単価：**12,000円／10a**

多収品種とは…

・ モミロマン、ホシアオバ、夢あおば等、主食用以外の用途向けに育成され、一般的な主食用品種と比べて収量が多いと国が認めた21品種

岡山県では特認品種として「**中生新千本**」も同じ助成を受けられます

岡山県だけ
ここがポイント!

支援 3 水田活用の直接支払交付金（産地交付金）：大規模作付する担い手

- 飼料用米に1ha以上取り組む担い手※を対象に、産地交付金による助成が受けられます。

※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、人・農地プランにおける中心経営体

助成単価：**8,000円／10a 以内**

岡山県だけ
ここがポイント!

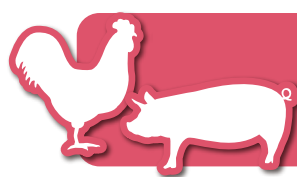
（注）産地交付金は、〈支援③〉以外に、地域農業再生協議会が別途、独自助成措置を設けている場合があります。詳細は各地域農業再生協議会におたずねください。

飼料用米に取り組むメリット

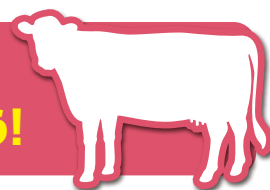
- 飼料用米の取組を通じて、**主食用米の需要に応じた生産**を実現できます。
- 食料自給率向上の観点から、安全で栄養価の高い国産の飼料用米に畜産農家からの期待が高まっています。
- 特に岡山県では…
 - ★地域循環、地産地消の考えにより、県内の販売業者が、県産の飼料用米で育てた鶏卵や牛・豚・鶏肉を商品化し、「安全・安心な県産米で育てた畜産物」として消費者から大変よろこばれています。
- 専用の機械設備が不要で、主食用米と同じ機械設備で生産することができます。

〈参考〉耕畜連携助成について

- 耕畜連携助成は、全国一律の助成から、地域の実状に応じた助成に変わります。詳しくは、地域農業再生協議会におたずねください。



**需要があり経営安定にもつながる
飼料用米に積極的に取り組みましょう!**



飼料用米の疑問にお答えします



1) 周りに畜産農家は少ないけれど、本当に販売先を確保できるのかなあ。

1) 十分な需要を確保しています。安心してお近くのJAに出荷して下さい。



2) 主食用米に飼料用米が混ざってしまわないか不安だなあ…。

2) 多収品種を導入することはコンタミリスクもありますから、まずは作り慣れた主食用品種から始めることをお勧めします。
多収品種を作付する場合は、主食用米へのコンタミを防ぐため作付の団地化を行いましょう。



3) 飼料用米は出荷のときに農産物検査を受ける必要があるの？

3) 交付金の支払根拠として検査機関による検査が必要です。



●飼料用米に関するお問い合わせ窓口

問い合わせ先	所在地	電話番号
中国四国農政局 生産部 経営所得安定対策チーム(岡山県担当)	岡山市北区厚生町3-2-6 厚生町庁舎	086-233-1577 (代)
岡山県農業再生協議会事務局		
(JA岡山中央会総務企画部)	岡山市北区磨屋町9-18	086-232-2358
(JA全農岡山県本部米穀部)	岡山市北区磨屋町9-18	086-234-6875
(岡山県農林水産部農産課農産振興班)	岡山市北区内山下2-4-6	086-226-7424
各農業協同組合、各県民局農林水産事業部(農畜産物生産課、農業普及指導センター)		

(注) 交付金の単価や要件等は、国における平成29年度予算概算要求に基づくもので、今後、変更となる場合があります。

- 「中生新千本」技術資料 http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/457113_3153242_misc.pdf
- 「多収品種に取り組むに当たって—多収品種の栽培マニュアル—(平成28年9月改訂版)」
http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/tasyumai_manual_2809.pdf
- 「飼料用米生産コスト低減マニュアル」 http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/siryomai_manual_2809.pdf